

2月13日(木)から3月16日(月)まで

申告の内容は、令和2年度の市・県民税や国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料などを算定する基礎になります。所得・課税（非課税）証明を取得するためにも、申告が必要です。

申告が必要な人

令和2年1月1日に市内に住んでいて、次のいずれかに当てはまる人。令和元年度の申告をした人には、2月上旬に申告書と手引を郵送します。

「令和元年中」は、「平成31年1月1日から令和元年12月31日まで」のことを言います。

■給与所得者で、令和元年中に20万円以下の事業・不動産所得などがあった人

■勤務先から市に令和元年分の給与支払報告書が提出されていない人

■国民健康保険・後期高齢者医療制度に加入していて、保険料

軽減の算定が必要な人

■所得税の確定申告の必要がなく、源泉徴収票に記載されている各種控除の内容を変更する人

申告の必要が無い人

■令和元年分の所得税の確定申告をする人

■給与収入のみで、勤務先から市に令和元年分の給与支払報告書が提出されている人

■令和元年中の収入が公的年金のみで、年額151万5000円以下の65歳以上の人か、年額101万5000円以下の65歳未満の人

必要な物

- 申告書（申告会場にも準備）
- 印鑑
- 個人番号カードか通知カード、個人番号が記載された住民票の写しと、運転免許証や健康保険証など本人確認ができる物
- 源泉徴収票や収支計算書
- 所得控除を受けるための書類：生命保険料や地震保険料の控除証明書、国民健康保険料・

豪雨災害者への控除も

令和元年7、8月豪雨災害で被害を受けた人は、雑損控除を受けられる場合があります。

申告の方法

本庁舎や各総合支所など、市内10カ所の会場で申告するか、申告書を市民税課に郵送してください。郵送の場合、証明書類などは申告書に貼り付けずに同封してください。市ホームページで税額の試算や申告書の作成

ができます。

久留米税務署（諏訪野町）で、所得税や贈与税、消費税などの申告相談を受けられます。2月17日(月)からの9時～16時です。

◎市民税課 ☎0942・30・9008、FAX0942・30・9753



市・県民税、確定申告の申告書。インターネットでも作れます

申告会場と日程

会場	日時
本庁舎2階くるみホール	2月17日(月)から3月16日(月)までの平日9時～16時
田主丸・北野・城島・三潴総合支所	2月17日(月)から3月16日(月)までの平日9時～11時30分、13時～16時
コミュニティセンター高良内会館	2月25日(火)、26日(水)9時～16時
ふれあい農業公園	2月27日(木)、28日(金)、3月3日(火)9時～16時
コミュニティセンター上津校区会館	2月13日(木)、14日(金)、17日(月)9時～16時
筑邦市民センター多目的棟	2月18日(火)から21日(金)までの9時30分～16時
安武校区コミュニティセンター	3月2日(月)9時～16時

満開のツツジを觀賞しながら、スタートする参加者たち



久留米つツジマーチ参加者募集

歩いて感じる春

5kmはバリアフリーコース

日本マーチングリーグ公式大会「久留米つツジマーチ」を開催します。

- 4月18日(土)40km・草野・善導寺コース。20km・森林つツジ公園コース。10km・石橋文化センターコース。5km・つツジ祭り1万歩コース
- 4月19日(日)40km・城島コース。20km・鬼夜・大善寺コース。10km・水天宮・町並みコース。5km・寺町1万歩コース
- 料金2000円、当日2500円。小学生～高校生1000円



円、当日5000円

■申込方法 申込書と料金を4月17日(金)までに同実行委員会へ。郵便振込、インターネット、Famiポートは3月31日(火)まで。当日申し込みは6時30分から中央公園会場の受付テントへ

■特典 2月29日(土)までに申し込んだ人は大会誌への氏名掲載と、抽選で50人にウォーキングシューズをプレゼント

家族で参加キッズウォーク

■4月19日(日)9時15分・中央公園スタート。くるめウスや鳥類センターなど約3kmコース

■料金 無料

■定員 300人・先着順。保護者同伴

◎久留米つツジマーチ実行委員会（久留米観光コンベンション国際交流協会内）☎0942・31・1777、FAX0942・31・3210

市観光コンベンションホームページは、詳しくはQRコード

鬼面が私にほほ笑んだ

城島の「鬼瓦」は外国人に響く。「よそ者」ならではの感覚で見だした地域資源を生かして、新たなツアーを企画しました。



西部・観光まちづくりプランナー ルモアニュ慶子さん

マンホールの模様がきっかけに

九州にさえ来たことも無かった私。昨年、久留米の地域おこし協力隊員として、城島に引っ越すことになりました。どんな所だろうとネットで地図を見ると、まちの至る所に鬼面が。引っ越す前から印象的でした。実際に瓦工場を見学すると、屋根瓦だけでなく、植木鉢、文鎮、明かり取りなどのさまざまな用途の瓦が。写真では分らなかった、いぶし銀の渋みにぐっと引き込まれました。今では珍しくなったいぶし銀の和瓦は、外国人向けにも立派な観光資源になります。

ところが、瓦づくり体験は焼き上がりまで10日以上もかかる。できた瓦を送ると費用がかさむ。持ち帰る時に割れる可能性もあるし、とにかく重い。外国人観光客には向かないのです。

そんな時、鬼瓦の精霊が私にささやきました。瓦工場に向かう道すがら、かわいい柄のマンホールが私の目に止まりました。そこには愛らしい鬼面が。それを見ながら、これで拓本を作ると面白いかなあ…なんて

ぼんやり。そこでひらめいたんです。「もし鬼瓦で拓本を取ったら、体験当日に持って帰れる。しかも軽い!」。こうして、城島瓦の拓本体験ツアーが生まれました。2月にはモニターツアーを予定しています。参加者自身で城島瓦から拓本を取って表装します。昼食は、筑後名物ウナギのせいり蒸し。城島を堪能できる日帰りツアーです。拓本の作業は、下のQRコードから動画で見られます。

今後、市民の皆さんが体験できる場もつくりたいので、意見や要望などを聞かせてください。

◎城島総合支所産業振興課 ☎0942・62・2115、FAX0942・62・3732

「YouTube」福岡県久留米市400年の歴史を誇る【城島瓦】へ



表装された拓本。和柄が外国人観光客に人気です